

2024年度 学校関係者総合評価

学校関係者評価委員 井上 薫 鎌田 果保 高橋 徳庫 本間 友利恵 安田 光則

・園舎の明るさと同様に、園の雰囲気が明るく、行事の度に楽しそうな子どもたちの様子を見せてもらうことができた。行事では子どもたちがとても意欲的に楽しんでおり、そのための教師の促しがとても上手だと感じている。認定こども園として受け入れている1, 2歳の小さな子どもたちが上の学年と活動を共にすることが難しいと思われるが、異年齢同士よく交わって遊ぶことができている、とても豊かな家庭的雰囲気が作られている。

・1年を通した各行事において、子どもたちが輝いており、十分に活動できていると感じている。日毎幼稚園から帰った子どもたちが家庭において「たのしかった!」と語られることが一番であり、それが、幼稚園の根っこに値する。子どもたちの元気を、大人もいただいて一緒に喜び合うことができることは感謝なことである。

・上の子が小学校に入学したことで、幼稚園の保育でさまざまなことが行われていると感じている。園バスを用いた園外保育に連れて行ってもらったり、園での様子などを分かりやすく伝えてもらったりしてありがたい。

・給食のアレルギー児への対応では特に大変だと思う。アンケート結果からアレルギー児や家庭への細やかな配慮がなされていると感じる。

・子どもが年長児として、年間を通した木育活動を楽しみ、木育マイスターさんとの交わりも喜んでいった。幼稚園に「わくわく」と楽しく通えていることを嬉しく思う。おたのしみ会では保護者参加型のプログラム（おえかきですよ）を久しぶりにドキドキしながら参加させてもらい楽しむことができた。

・先生たちがとても一生懸命で、楽しい1年を過ごすことができた。2歳の子どものクラスでは、子ども自身が園の様子を伝えられないので、大変な保育の中と思う。その日の様子を一言でも連絡ノートに書いて頂き、やり取りしたことでとても安心感があった。

・全国のニュースで報道されているような「不適切保育」について、敏感に反応し、自分たちの保育を振り返る作業を行っていることは評価できる。

・日常の避難訓練において即対応できるような現実味のある訓練を行ってほしい。

・保護者との距離が近いと感じる。教師と保護者の良い関係性が築かれていて、保護者アンケートの評価も高いことにも納得がいく。

・行事に参加してみて、保護者も一緒に楽しんでいた様子から、子どもたちを安心して預けてもらっていると感じることもできた。